

メーキャップ  
状況

8月4日(月) 海南東R.C. 糟谷 元春  
 8月4日(月) 和歌山アゼリアR.C. 岩橋 五郎、亀田 直紀、田中 完児、豊田 英三、堀岡 忠男、  
 松田 洪毅、三毛 理一朗  
 8月5日(火) 梅田R.C. 堀井 孝一 / 8月8日(金) 和歌山南R.C. 堀井 孝一

にこにこ箱

ありがとうございました

|         |   |              |  |
|---------|---|--------------|--|
| 南方 淳一さん | 初めてメークアップさせていただきます。宜しくお願いします。               | 笹島 良雄さん      | メアス博子さんようこそお出で下さいました。大歓迎です。                              |
| 藤田 昌宏さん | 皆様暑中お見舞い申し上げます。                             | 岸裏 廣澄さん      | 巨人の事は少し休けい、お盆に精進します。                                     |
| 山東 勝彦さん | ロータリー情報委員会赤井雅哉君の歓迎会を開催致します。ご出席ください。         | 角谷 芳伸さん      | メアス博子様、今日は遠いところありがとうございました。                              |
| 内畑 瑛造さん | 嬉しい事が有りましたので。                               | 加藤 裕司さん      | メアス博子さんようこそお越し頂きありがとうございます。                              |
| 伊藤 裕通さん | 暑い日が続く久しぶりの出席です。本日体調良好です。                   | 阪神タイガース応援団一同 | オリンピックもいよいよ始まりです。応援よろしく願います。                             |
| 玉置 博康さん | 県高野連からの日当と交通費です。                            | 八幡 建二さん      | ガバナー補佐の南方さん、メアス博子さんようこそおいで下さいました。                        |
| 松田 洪毅さん | ガバナー補佐の南方様、今年一年よろしく願います。ご苦勞様です。             | 前田 成蔵さん      | 立秋だと云うのに暑いです。お互い頑張りましょう。                                 |
| 松田 洪毅さん | メアス博子様、カンボジアの地よりようこそおいで頂きました。本日の卓話よろしく願います。 | 榎畑 友洋さん      | 南方大先輩ようこそおこし下さいました。                                      |
| 岡野 年秀さん | 内畑さん、エイジシュート達成おめでとうございます。                   | 榎畑 友洋さん      | 先週は家族サービスの旅行のため、例会失礼いたしました。代打を務めていただきました吉田さんありがとうございました。 |
| 谷口 文利さん | メアス博子様、本日はお出で頂きありがとうございました。卓話よろしく願います。      |              |  |

【本日の累計 60,000円(計16名)(お誕生日お祝い 65,000円 皆出席 5,000円 その他 519,386円) 累計額 589,386円】

本日の例会 8月21日(木)

- クラブフォーラム「会員増強」
- 卓話「会員増強月間にちなんで」  
2640地区クラブ奉仕部門カウンセラー(直前ガバナー)  
平原 祥彰さん
- 皆出席表彰  
土方 浩市さん 1年皆出席 通算1年
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
崖の上のポニョ(久石 譲)  
花より男子メインテーマ(山下 康介)

次回の例会 8月28日(木)

- 卓話「二人の源義経と熊野の銀」  
社会工学コンサルタント(行政書士) 小谷 正さん

前回の例会 8月7日(木)

- 卓話「スナーダイクマエ孤児院について」  
スナーダイクマエ孤児院 メアス博子さん
- ロータリーソング 野上 泰造さん  
「奉仕の理想」
- ビジター紹介 赤井 雅哉 親睦委員  
和歌山中R.C. 南方 淳一さん
- 出席報告 田原 久一 出席副委員長  
会員数56名(内出席規定適用免除会員9名)

|                |     |       |
|----------------|-----|-------|
| 8月7日(本 日)      | 32名 | 68.1% |
| 7月24日(メーキャップ後) | 47名 | 100%  |

| 市内ロータリークラブ情報 | クラブ         | 日時       | 内容   |
|--------------|-------------|----------|--|
|              | 和歌山城南R.C.   | 8月21日(木) | クラブフォーラム「I.D.M.発表」                             |
|              | 和歌山南R.C.    | 8月22日(金) | 卓話 西日本旅客鉄道(株) 和歌山支社長 辻子 義則さん                   |
|              | 和歌山中R.C.    | 8月22日(金) | フリートーク   |
|              | 和歌山北R.C.    | 8月25日(月) | 卓話「災害時における高齢者生活支援について」日赤和歌山医療センター看護副部長 石井 裕子さん |
|              | 和歌山アゼリアR.C. | 8月25日(月) | 会員による職業奉仕の実践報告                                 |
|              | 和歌山R.C.     | 8月26日(火) | 卓話「おしん制作の舞台裏」NHK奈良放送局長 秋山 茂樹さん                 |
|              | 和歌山西R.C.    | 8月27日(水) | ゆとりの時間 その①                                     |
|              | 和歌山東南R.C.   | 8月27日(水) | 卓話 ガバナー補佐 南方 淳一さん                              |

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073) 432-4343 FAX (073) 432-4845  
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp  
E-mail: info@werc.jp

2008年 8月 21日(木) 週報 / VOL.50 No.7(通巻2370)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。  
 毎日本当に暑い日が続いておりますが、私はその対策として毎日8時間以上睡眠をとっています。睡眠をとるのは非常に大切なことで、いくらお酒を飲んでも8時間以上寝るようにしております。もし睡眠がとれない日には翌日の昼にたとえ一時間でも寝ます。それが健康の秘訣というか、お酒をたくさん飲む秘訣と思って今も実行しております。どうか皆さんも十分睡眠をとっていただきたいと思います。

いよいよ明日、8月8日午後8時からオリンピックの開幕です。食中毒など中国の問題があって、いつもより盛り上がりが少ないように思います。報道なども少しダークなイメージですが、今回はたくさんメダルを取るのではといわれていますので、野球を中心に応援したいと思います。

今日は9クラブの会長幹事会がございます。その後、市長と知事の所へ表敬訪問に行まいります。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



- ・JCニュース ..... 回覧
- ・職業奉仕委員長会議のご案内  
..... 9月14日(日) うお健ビル
- ・財団委員長会議のご案内  
財団奨学生帰国報告会  
..... 9月13日(土) うお健ビル

委員会報告

ロータリー情報規定委員会

山東 勝彦 委員長



こんにちは。赤井雅哉君の歓迎会のご案内です。9月5日、多数のご出席をお願いいたします。

卓話紹介

国際奉仕委員会

角谷 芳伸 委員長



皆さん こんにちは。  
 少し前ですが、前委員長の瀧川さんのところにメアス博子さんから「仕事等の都合で日本に帰国する」という内容のメールをいただいておまして、それを引き継ぎ、メアス博子さんと連絡を取らせていただきました。

是非、スナーダイクマエ孤児院の現状をお話いただけないでしょうかということで、本日卓話をお願いする運びとなりました。こういう形でお時間をとっていただくのは初めてかと思いますが、また皆様のご理解を深めていただければと思いますので宜しくお願いいたします。

それではメアス博子さん、宜しくお願いいたします。

## 卓 話

## スナーダイクマエ孤児院について

スナーダイクマエ孤児院 メアス博子さん



皆さんこんにちは。本日は宜しくお願いいたします。最初に、今日皆様からこのように暖かくお迎えいただきましたことうれしく思っております。本当にありがとうございます。

それから孤児院への教育費の支援を継続していただけますことを大変ありがたく思っております。また皆様のお力添えにより堺西ロータリークラブ様からも継続の支援をいただくことができました。重ねて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

現在孤児院では26名の子供と4人のカンボジア人スタッフ、そして私と日本人の日本語教師と一緒に生活しております。男女ともに13人で、当初男の子への教育に重点をおいておりましたが、女の子へも教育の機会を与えていきたいということが実現しております。

今年の初めに、カンボジア全国から100名以上応募のある日本語スピーチコンテストで、当孤児院の高校一年生の女の子が優勝しました。スピーチは「物の大切さについて」という内容でした。今シェムリアップの町では土地バブルで、今まであまりお金を手にしたことがない人たちが突然大きなお金を手にするようになり、子供に物やお金を与えて甘やかすことが一般的になってきているなかで、孤児院で暮らす彼女は、孤児院から与えられるものだけで生活しています。壊れたバイクを放置して、また新しいバイクを親に買ってもらったり、携帯電話を持って学校に登校したり、こんな同級生を見て「自分たちはこういう形で豊かになっていくのはいいのでしょうか、もっと大切なものがあるんじゃないか、物を大切にすること、親がどんな気持ちで与えてくれているのか」という内容でスピーチをさせていただきまして、コンテスト始めて以来最年少の優勝者となりました。

日本語教育に関しまして、孤児院では今日本語教師を目指している高校2年生の男の子がいます。この子は両親がいるのですが「学校を辞めてすぐに働け」と言われ、どうしてもそれがいやで自分からこの孤児院に入り勉強がしたいということで、親を説得し、孤児院にお願いに来た子です。最初は親がいる子を受け入れることに抵抗があったのですが、彼の真剣な顔を見て受け入れることを決めたのが7年前のことです。その子が今高校2年生になり、プノンペンで開かれる日本語能力試験の2級に合格しました。我々の住むシェムリアップという町でこの2級合格者は2名しかいません。プノンペンの大学の日本語学科の学生でも合格できないくらいの試験です。

日本語スピーチコンテストや日本語能力試験の結果をみて、日本語指導の先生や日本語学習者から、スナーダイクマエ孤児院の日本語教育が注目されています。

日本語の先生の指導がよかったこともあるのですが、日本語ができるということが将来の職業につながっていくということで子供たちも日本語の授業に関しては大変意欲的に取り組んでいます。

最近、日本人の先生によって、絵画の教室を開くようになりました。先生はもともと高校の美術の先生だったのですが退職されてカンボジアにこられました。カンボジアの学校では美術や音楽はありません。

今回私が日本に帰ってきたのは7月の半ばでした。札幌で子供たちの絵画展を開催していただき、そこで孤児院のお話をさせていただくという目的もあって帰ってきました。有料のイベントにもかかわらず多くの人に来ていただきました。そこで子供たちの描いた絵を使って作ったポストカードやオリジナルのTシャツなどを販売し孤児院の運営費を自分たちでも作ってこういう試みで第一回目の絵画展を無事に終了することができました。

2ヶ月ほど前、近畿地区のJCの方々約120名が研修でカンボジアにいらっやまして、そこで知り合った京都の方が場所を提供くださり、7月20日から8月3日まで絵画展を開かせていただきました。今度はその絵を小樽にもって行きまして展示会をすることになっています。

孤児院の予算を考えると、物価の高騰がありまして、教育費は皆様にずっと支援していただいているので安定しているのですが、スタッフの給料や子供たちの食費などが大変厳しい状態になっておりま



す。私が8年間外国人として孤児院にいて感じているのは、ずっと誰かに「困っているからお金をください」といって続けるのか、それとも自分たちでお金を生み出していこうなすべを考えていって、カンボジア人も自分たちでそういう努力をしていこうな施設にするべきなのか、そういうことを考えるようになっていきます。もちろん国からの支援はありませんし、財政的にはどのNGOも厳しいとは思いますが、支援金というのは今も大きなウエイトを占めています。ただカンボジアの人が、待っていれば外国人がお金をくれるという状況を作るのではなく、それも必要で感謝の気持ちを持ちながら、自分たちもできる部分はやっていこうという心をスタッフや子供たちに持ってほしいと思うようになりました。そして最初に始めたのが孤児院でのTシャツ販売です。春と夏のお休みの長いときは学生さんがカンボジアに来てボランティアをしてみたいとか子供たちと交流したいという希望が増えておまして、スナーダイクマエ孤児院では年間約500~600人の訪問者がきます。来てくれた人に必ずTシャツを一枚買ってほしいとお願いして孤児院の運営費にしています。

ただ、すべてをそれにすることは困難で、支援していただくということが本当に必要です。孤児院の運営費も年々コストが上がっておりまして、質の良いスタッフを雇いたいと思っても、語学ができる観光業で簡単に現金が入る町であるという現状もありますし、私とのコミュニケーションが円滑に運ぶ人となると英語ができる人となり、安い給料ではきいてくれません。あまり教育を受けていない人なら簡単に見つかりますが、子供の指導を任せるとはいけません。

そういう中でも今、スタッフのトレーニングを行い、子供たちには学校でできないことを教えていこうとしています。

もうひとつ孤児院の体制が厳しくなった理由で、慢性疾患を抱える子供が2人います。2人ともネフローゼという病気で、塩分を取りすぎるとはいけなかったり、薬をきっちり飲まないといけません。子供なのでこれが守れなかったときは、足や顔がパンパンに腫れて入院しなければいけません。14歳までは病院が無料ですが、一人の子は16歳なので一般のクリニックにいきます。3~4日の入院で、保険もありませんので10万円くらいかかります。またその男の子は精神的な疾患も抱えていて、父親の虐待を受け、母親が孤児院に連れてきました。16歳ですが一度も学校に行ったことがありません。その子は、自分の思いが相手に届かなかったことに気付いたとき、自傷行為に走ります。周りの子供たちに危害を加えることはありませんが、孤児院に来たころは、壁に頭を打ち付けたり、ガラスを割って手に14針も縫う怪我をしました。しかし、皆で「君のことが好きなんだよ」と話しかけるようにして、一年経った今はほとんど自傷行為もなくなりました。ただ、これからこの子がどうやって自立していけばいいのかを考えなければいけません。

また孤児院の食料費に関して、お米の値段が3ヶ月の間に一気に3倍に上がり、だんだん落ち着いて今は2倍くらいになっています。以前は一ヶ月間に400kgのお米を消費していましたが、今は200kgしか買うことができなくて、多少の繰越金を切り崩しながら不安定な状況となっています。皆様にはずっと教育費をいただいてこのようなお話をするのは心苦しいのですが、現状をご理解いただいて、また支援ということをお考えいただければと思います。ただ私たちも自分たちでやっていける努力をしているということもここでお伝えできると嬉しいです。

今シェムリアップの町にはたくさん日本人の観光客が来てホテルやレストラン、医療なども整っています。できれば私がお話させていただくだけではなく、皆様にも孤児院に一度お越しいただきまして実際に子供たちがどのように生活しているのか、どういった環境で教育を受けているのかをぜひご覧いただけたらすごくうれしいです。子供たちは好奇心もあって、日本語にも非常に興味がありいろんな方とお話したい子供たちばかりです。是非一度、子供たちと交流していただけたらうれしく思います。

最後まで聞いていただきありがとうございます。これからも宜しくお願いいたします。



## ■カンボジアの孤児院「スナーダイクマエ」

公式ホームページ……<http://www.snadai.com/>BLOG ……………<http://blog2.snadai.com/>